



新たな10年への スタート



代表取締役社長 リード・パトリック

当第2四半期累計期間（以下「当中間期」）の業績は、いずれの利益項目においても損失を計上しましたが、通期計画に対しては想定の範囲内の進捗と考えております。

当中間期は期初（7月）に、神奈川県川崎市殿町に建設していた新本社・研究所が完成し、8月に移転を完了したという大きなイベントがありました。これにより移転関連費用約2億円が発生し、一時的な費用増加要因となりました。しかし研究スペースは、従来の東京大学駒場キャンパスと比べて大幅に拡大し、最新鋭装置が入ったことで、こなせる研究開発の仕事量が大きく増加しています。この効果はこれから徐々に目に見える形として出てくることが期待されます。

当中間期の一時的な費用増加要因はもう1つあります。当社は7月に米国イェール大学発バイオベンチャー企業であるクリオ・ファーマシューティカル社（以下「クリオ社」）と複数の適応症でがん免疫治療薬の共同研究開発を行う戦略的共同研究開発契約を締結し、クリオ社に医薬品候補化合物の製造や前臨床試験に向けた費用として約3億円の一時金を支払いました。このため、当中間期の研究開発費は前年同期比と比較して4.9億円の増加となりました。当社が一時金を支払うことは初めてのことで、がんを根絶するためにここ数年で注目されているがん免疫治療薬の市場規模が大きくなる可能性が高いと考えており、早期事業化の推進に必要と判断し実施いたしました。

当社は次なる成長ステージに向けた仕込みとして、クリオ社以外にも世界中の特別な技術を有する創薬企業やバイオベンチャー企業、アカデミア等の研究機関と戦略的提携を組むことで、自社のパイプラインの拡充を図るという事業戦略を進めています。この事業は当社の将来の業績をけん引するものと予想しております。

新本社・研究所が完成し、これからの10年は、この研究開発拠点を活用し、世界の人々に薬を届けるための10年といえます。それを推進し実現することが私の使命と考えております。

決算ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

第2四半期業績

売上高

913 百万円

営業利益

△89

当第2四半期累計期間(2017年7月1日から2017年12月31日)において、当社独自の創薬開発プラットフォームシステムであるPDPS (Peptide Discovery Platform System) を活用した3つの事業戦略:①創薬共同研究開発契約、②PDPSの技術ライセンス、③戦略的提携による自社パイプラインの拡充を進めてきました。

1つ目の事業戦略である創薬共同研究開発契約については、2017年11月に、独バイエルAG社との間で、複数の創薬標的タンパク質に対して特殊環状ペプチドを創製する創薬共同研究開発契約を締結しました。独バイエルAG社との新規契約の締結により、創薬共同研究開発契約の契約締結企業は18社(国内製薬企業6社、海外製薬企業12社)となりました。契約締結企業での開発の進捗もありました。2017年10月に旭化成ファーマ株式会社、11月に米国メルク社(米国以外ではMSD)、12月に米国リリー社及び塩野義製薬株式会社との間で実施している創薬共同研究開発において、見出された特殊環状ペプチドがあらかじめ設定していたクライテリア(共同研究開発先とそれぞれ合意している生物活性及び物性等の基準の総称)を満たしたことから、設定していたマイルストーンフィーをそれぞれの企業から受け取りました。

2つ目の事業戦略であるPDPSの技術ライセンスについては、現在5社(米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社、スイス・ノバ

資産の状況

(単位:百万円)

(2017年12月31日現在)

資産の部
12,383

流動資産 5,101

(前期末比 3,419 百万円減)

固定資産 7,282

(前期末比 2,174 百万円増)

負債及び純資産の部
12,383

負債 676

(前期末比 771 百万円減)

純資産 11,706

(前期末比 473 百万円減)

95 百万円	経常利益 △764 百万円	四半期純利益 △534 百万円
--------	-------------------------	---------------------------

ルティス社、米国リリー社、米国ジェネンテック社、塩野義製薬)と非独占的なライセンス許諾契約を締結しています。PDPS技術はこの5社のうち4社で技術移管が完了しており、移管先企業内で多数のプログラムに対する活発な運用が始まっております。

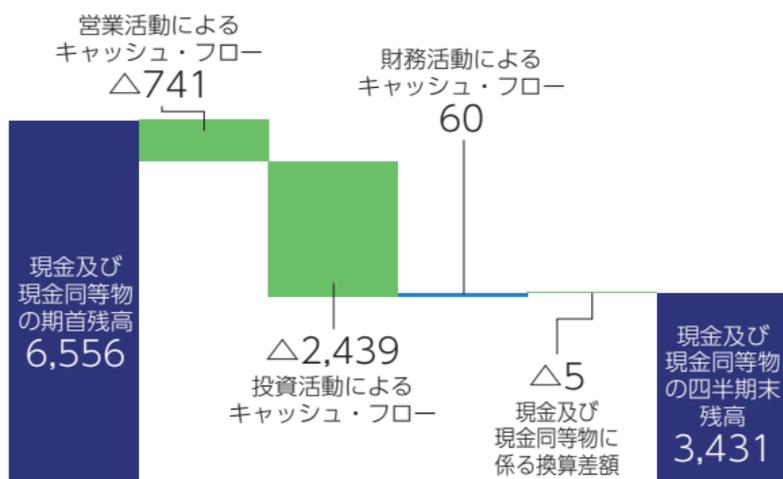
3つ目の事業戦略については、4社 (JCRファーマ株式会社、モジュラス株式会社、英国ヘプタレス社、米国クリオ社) 及び川崎医科大学、ビル&メリング・ゲイツ財団と戦略的提携を発表しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は913,283千円(前年同四半期比250,586千円減少)、営業損失895,820千円(前年同四半期は営業利益345,737千円)、経常損失764,407千円(前年同四半期は経常利益499,218千円)、四半期純損失534,412千円(前年同四半期は四半期純利益350,506千円)となりました。損失の計上の主な要因は、売上高の減少に加え、研究開発費が増加したこと、新本社・研究所が完成し移転したことによる一時的な移転関連費用の発生及び減価償却費の増加によるものです。研究開発費は米国クリオ社への一時金314,804千円という特殊要因があったため610,055千円(前年同四半期比492,042千円増加)となっております。新本社・研究所に関する費用につきましては、すべて手元資金で行っております。

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

(2017年7月1日から2017年12月31日まで)



■2018年6月期の業績予想

売上高	70 億円以上
営業利益	29 億円以上
経常利益	31 億円以上
当期純利益	21 億円以上

■PDPSを活用した3つの事業戦略

創薬共同研究開発契約18社

PDPSの非独占的技術ライセンス許諾5社

戦略的提携による自社パイプラインの拡充4社+2

※企業4社、大学等の機関2

■2018年6月期から2022年6月期までの中期目標

① 新薬の上市（承認・販売）1件以上

② 創薬共同研究開発契約企業数25社以上

③ PDPSの非独占的技術ライセンス許諾先企業数8社以上

④ 臨床試験開始プロジェクト数10件以上

⑤ 2022年6月期 期末人員数120人

1

独バイエルAG社との 創薬共同研究開発契約締結

独バイエルAG社との間で、複数の創薬標的タンパク質に対して特殊環状ペプチドを創製する創薬共同研究開発契約を締結いたしました。

2

特殊ペプチド原薬の研究開発、製造及び 販売を行う新会社を3社合併で設立

塩野義製薬株式会社、積水化学工業株式会社と合併で特殊ペプチド原薬の研究開発、製造及び販売を行う新会社・ペプチスター株式会社を2017年9月に設立いたしました。

3

川崎医科大学とのDMDに対する 革新的筋萎縮阻害剤実用化の共同研究開発

川崎医科大学との間で、これまで行ってきた難治性希少疾患であるデュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）に対する革新的筋萎縮阻害剤実用化の共同研究開発において、大きな進捗がありました。

4

ビル&メリンダ・ゲイツ財団から 新規感染症治療薬の研究開発に対する助成金

ビル&メリンダ・ゲイツ財団から、結核及びマラリアに対する新規感染症治療薬の研究開発のための助成金を受領いたしました。

5

ウィルチェアーラグビー・ 田邊耕一選手の採用

パラリンピック公式種目のウィルチェアーラグビーのアスリート選手である田邊耕一（たなべ・こういち）氏を採用いたしました。

会社概要／株式の状況

会社の概要 (2017年12月31日現在)

設立	2006年7月	主要取引先
資本金	3,901,491,250円	田辺三菱製薬(株)、第一三共(株)、 帝人ファーマ(株)、杏林製薬(株)、 塩野義製薬(株)、旭化成ファーマ(株)、 米 Bristol-Myers Squibb、米 Eli Lilly、 米 Merck、米 Genentech、米 AMGEN、 米 Janssen、英 AstraZeneca、 英 GlaxoSmithKline、スイス Novartis、 仏 IPSEN、仏 SANOFI、独 BayerAG
事業内容	創薬研究開発業	
本社	〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-23 TEL 044-270-1300	

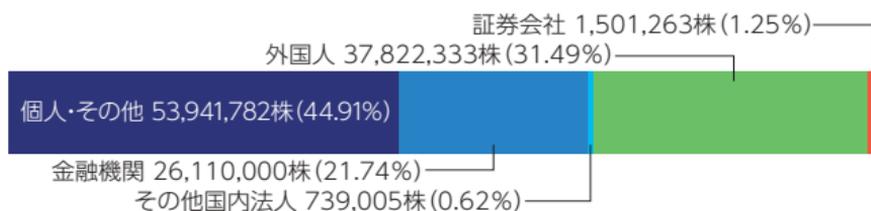
役員状況 (2017年12月31日現在)

代表取締役会長	窪田 規一	社外取締役	菅 裕明
代表取締役社長	リード・パトリック	社外取締役(監査等委員)	笹岡 三千雄
取締役(経営管理部長)	関根 喜之	社外取締役(監査等委員)	長江 敏男
取締役(研究開発部長)	舩屋 圭一	社外取締役(監査等委員)	花房 幸範

株式の状況 (2017年12月31日現在)

発行可能株式総数	171,200,000株
発行済株式総数	120,114,400株
株主数	18,340名

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3か月以内
株主確定基準日	定時株主総会 6月30日 期末配当を行う場合 6月30日 中間配当を行う場合 12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 取次所：三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。当社の公告掲載 URL は次のとおりであります。 http://www.peptidream.com/

ペプチドリーム株式会社

〒210-0821
神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-23
TEL (代表) 044-270-1300
(IR広報) 044-223-6612
<http://www.peptidream.com/>

